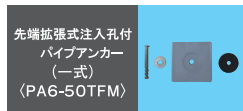


●製品構成・仕様



■スマートメッシュ 材質・品質規格
 基布素材：高強力ビロン系 編み目：目合い8mm×8mm
 表面皮覆：PVC皮膜（塩ビ系合成樹脂） 繊維目付量：280g/㎡以上
 編み方：縫糸挿入ラッセル網 破断伸度：5×5（%）以上



■先端拡張式注入孔付パイプアンカー（一式）（PA6-50TFM）
 材質：SUS304 寸法：φ6.0×L50mm（フランジφ10mm）
 フランジ部：熱硬化フッ素樹脂加工

■座金（ワッシャー） 材質：SUS304 寸法：t=1.0mm

■プレート 材質：AES（耐候） 寸法：60×60×6mm

■ゴムワッシャー 材質：NBR 寸法：t1×φ30



■注入樹脂
 主剤（A液）／エポキシ樹脂
 硬化剤（B液）／ポリアミドアミン
 混合比／主剤：硬化剤=2：1（重量比）

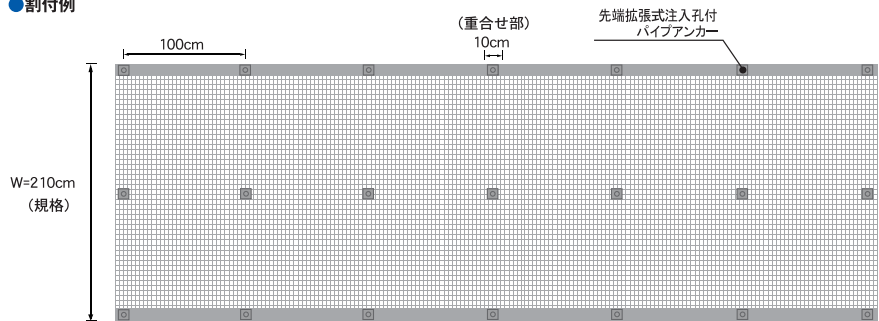


■打ち込み棒
 ■スタティックミキサー（樹脂注入ノズル）
 ■注入ガン

●試験結果

試験項目	載荷試験（社内試験） 要求性能1.2KN/m以上	防炎性試験	耐アルカリ性試験 （JIS L1096）	耐候性試験後の引張り強度および保持率 （JIS L1096キセノン灯光による）
試験結果	2.7KN/m アンカーピッチ 1,000mm×1,000mm	合格 （財）日本防炎協会	保持率：縦82%、横94% 引張強度：（試験前）縦3720N、3250N （試験後）縦3050N、3060N	初期値 760N / 本 試験後（7,600時間促進）548N / 本 保持率 72%

●割付例



■販売実績

年度	～2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	合計
数量（千㎡）	106.6	42.4	72.4	60.7	17	47.6	28.4	24.6	16.6	14.8	431.1
主な使用機関	国交省、NEXCO西日本、NEXCO中日本、NEXCO東日本、JR西日本、JR九州 他										

■販売元・お問い合わせ先

西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社

〒760-0072 高松市花園町三丁目1番1号
 tel.087-834-2386 fax.087-834-0150

くわしくは [エンジニアリング 四国](#) [検索](#)

販売店

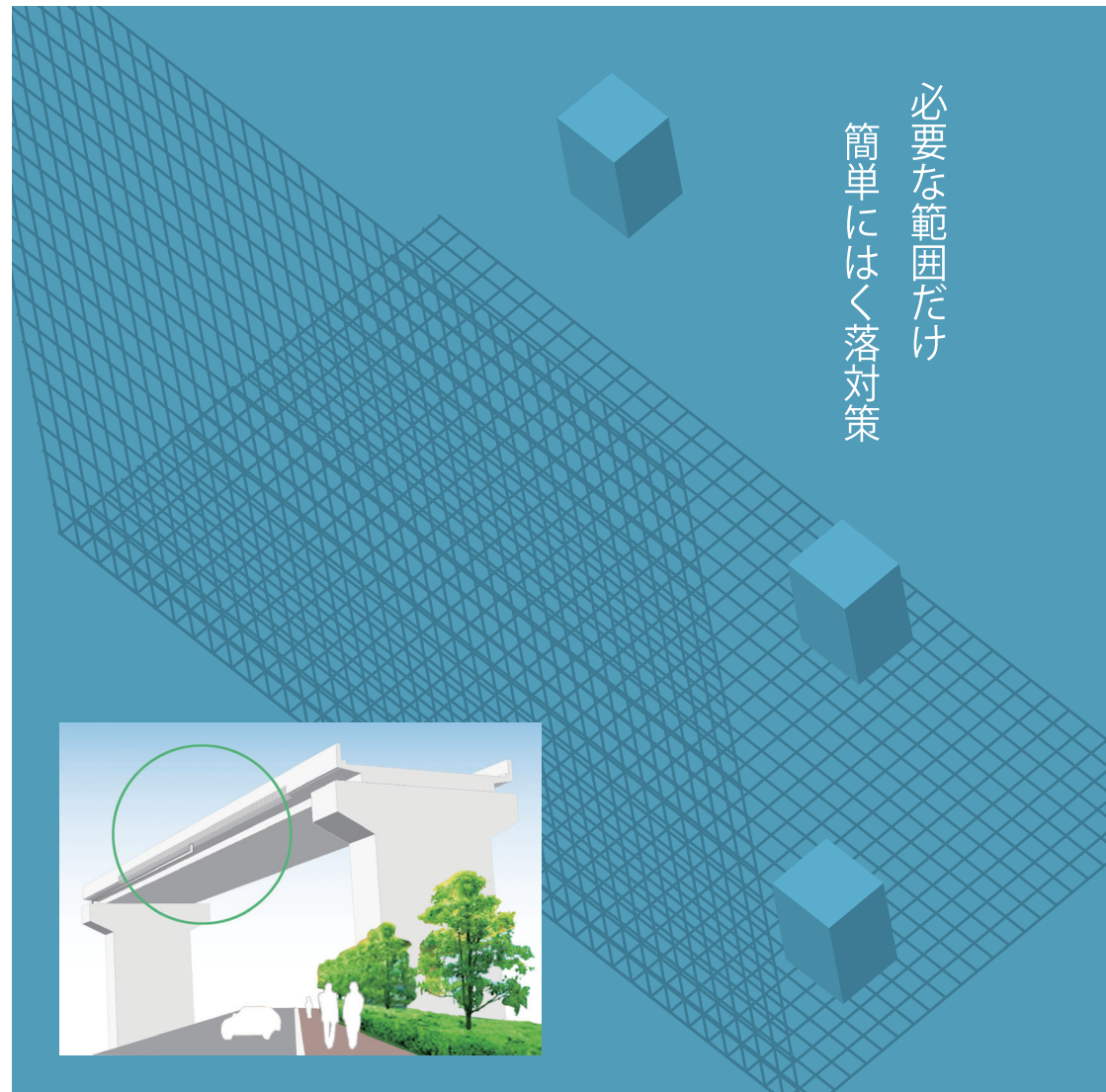
2023.06

コンクリートの剥落防止対策ネット。

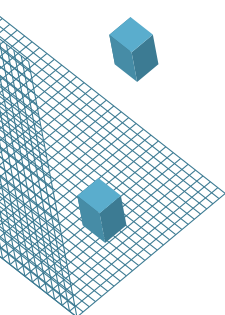
スマートメッシュ

NETIS 登録番号 SK-140006-VR

活用促進技術（新技術活用評価会議（国土交通省近畿地方整備局））



必要な範囲だけ
 簡単にはく落対策



丈夫で長持ち、仕上がりがスマート。 しかも、施工が簡単です。

点検でコンクリートの浮きを発見。叩き落そうとしたけど、落ちない。
安心のためはく落防止対策をしたいけど、必要な範囲だけ簡単に施工できる方法は・・・

スマートメッシュは、高強度ビロンネットを使用したコンクリート片の剥落防止対策ネットです。耐久性、難燃性に優れ、また、通常のカッターやハサミで切断できるため、構造物の形状を問わず施工することが可能です。打ち込み型のパイプアンカーを使用し、ネットと構造物をぴったりと固定しますので、ネットの落下もなく、鳥害の心配もありません。

特徴 丈夫で長持ち

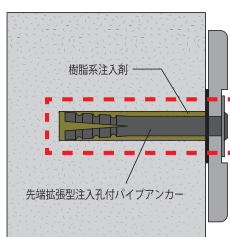
● 高強度ビロンネットを使用

高い引張強度と細かい格子間隔で、コンクリート片の剥落を防ぎます。PVC被膜（塩ビ系合成樹脂）加工で、耐候性、難燃性、耐アルカリ性に優れています。

● ステンレスアンカーをパイプ先端の拡張で固定

削孔穴にパイプアンカーを打ち込み、先端を拡張させることで、アンカーを確実に固定します。また、樹脂系注入剤を圧入し、コンクリート穴壁の劣化を防ぎます。

<パイプアンカー打設断面図>



<パイプアンカー組立図>



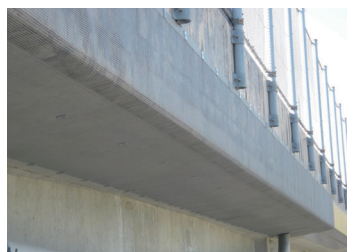
特徴 スマートな仕上がり

● 構造物にゆるまず密着

適度なやわらかさで形状を保持しながら、ゆるみなくスマートに仕上がります。

● コンクリートに馴染むグレー

コンクリートに近いグレーカラーで、より景観に溶け込みます。



特徴 簡単施工

● 構造物のすみずみまで施工可能

優れた柔軟性で、構造物の形状に合わせた施工ができます。

● アンカーを打ち込むだけで施工OK

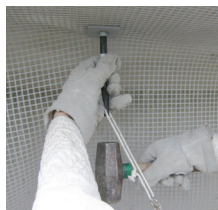
事前に削孔し、打ち込み棒で打つだけの簡単施工。付属物等の状況によりピッチを自由に配置できます。

● ネットの切断・加工が簡単

通常のカッターやハサミで切断できるので、排水管回り等の形状に合わせて施工できます。



配水管周辺も施工が容易



打ち込み棒とハンマーで打設

施工 スマートメッシュの施工方法

STEP 1 削孔 (6.5×50mm)



STEP 2 アンカー 打込・固定



STEP 3 樹脂注入 (完了)



比較 スマートメッシュと既存工法の違い

比較	工法	剥落防止ネット	スマートメッシュ
概要 特徴		<ul style="list-style-type: none"> ゆるみが大きく景観が悪い。 隙間が大きく鳥害の懸念が。 割付作業が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ゆるみがなく景観が良い。 隙間がなく、目視点検が可能。 設置面積の変更が容易。

点検 施工後の点検・メンテナンスも簡単

● 設置後の目視点検が可能

メッシュなのでコンクリートの劣化状況も目視確認できます。

<点検方法>

- メッシュシートの浮きや剥れ、パイプアンカー周辺を目視点検。
- 定期点検で、パイプアンカーの頭部を通常の点検ハンマーで叩き、ゆるみの有無を確認（スマートメッシュ設置部のコンクリートの点検は、繊維の損傷の可能性があるため、ゴムハンマー等を使用。）
- 異常があった場合は、メッシュシートを切り取り適切な処置を実施。必要な場合はメッシュシートを再設置する。

【適用条件及び留意事項】

- パイプアンカーはコンクリート躯体が健全な箇所に打設してください。
- 本工法は、コンクリート片のはく落を防止するものであって、コンクリート躯体を回復させる効果やコンクリート内部への劣化因子の進入や遮断効果はありません。
- 施工後は、定期的な点検を行うとともに、早期にその他必要な対策の実施をお勧めします。
- スマートメッシュ工法は、専用部材と専用工具で施工してください。それ以外での施工については、性能保証いたしかねます。